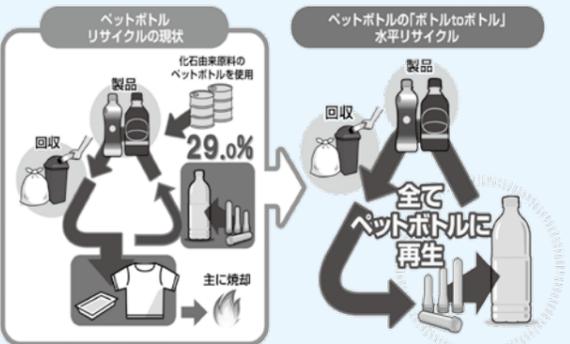


サークュラーエコノミーに向けて取り組もう



今年3月、サークュラーエコノミー（循環経済）の実現に関する包括連携協定をENEOS、サントリーグループ、有田市の3者で締結しました。本協定は、サークュラーエコノミー型産業の振興や、資源循環を通じて市民が自信や誇り、愛着を持って暮らせるまちをつくることを目的としています。また、県とも連携してサークュラーエコノミーの実現に取り組んでいます。

「ボトル to ボトル」水平リサイクルを開始！



出典：PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書 2023

資源が繰り返し循環するリサイクルにより、ペットボトル製造工程における二酸化炭素排出量の削減につながります。

使用済み食用油を利活用する仕組みを構築

昨年10月で原油処理を停止したENEOS和歌山製造所。今後は「未来環境供給基地」をめざし、SAF製造の拠点化やGXに関連する企業の誘致が進められています。

これらの取組をもとに、地域資源の循環を図るため、今は捨てられてしまっている使用済み食用油（廃食油）を回収して利活用する仕組みづくりを進めています。

※ SAF…廃食油などのバイオマス原料とする次世代の航空燃料
 ※ GX（グリーントランスフォーメーション）…化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動

使用済み食用油の回収に協力いただけるモニター登録者を募集！

上記の仕組みをつくるため、県が使用済み食用油回収の実証を行います。

- 対象者** 和歌山市、海南市、有田市に設置する回収拠点に使用済み食用油を持参できる方
- 回収する油** 家庭から発生する植物性の食用油
- 開始時期** 7月頃を予定
- 回収方法** モニター登録者に配布する専用ボトルに使用済み食用油を入れ、回収拠点に持ち込み
- 回収拠点** 地域のスーパーマーケット、公共施設等を予定 詳細はこちら→



有田川クリーン作戦

7月7日（日）7時～

有田市を美しいまちにするため、皆様のご参加、ご協力をお願いします。

※集合場所は、6月中旬以降にお住まいの自治会等にお問い合わせください。

※小雨決行（中止する場合は放送でお知らせします）

6月は環境月間です ～地球環境やごみについて考えてみよう～

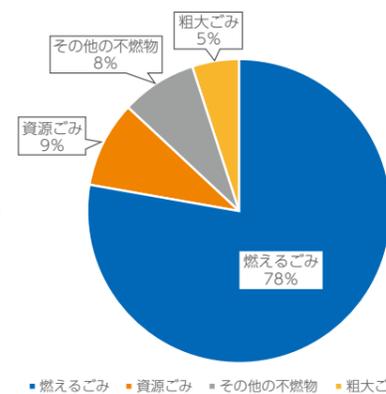


市では、「環境と共存するまち」を次世代につなぐ取組として、こどもの頃から環境にやさしい習慣や行動が定着するよう「有田市のごみ減量化・環境美化ポスター展」を開催。市内の小学生がポスターを描いてくれました。

作品はこちらから→



有田市のごみの割合



有田市では1年間で約8,000tのごみが発生しますが、そのうちの約80%が燃えるごみです。そして一般的には、燃えるごみの約40%が生ごみといわれています。

生ごみって意外に多い！

県の調べによると、有田市の1人あたりの生活系ごみの量は、県下9市で2番目に多いというデータが示されています。

市	1人1日あたりの生活系ごみ排出量
御坊市	888g
有田市	867g
新宮市	735g
岩出市	730g
田辺市	717g
海南市	703g
紀の川市	675g
和歌山市	648g
橋本市	627g

出典：和歌山県の一般廃棄物 令和3年度実績

有田市のごみの量は？

生ごみ・ほとんどが水分

生ごみの水分量は約80%といわれています。ほとんどが水分であることがわかります。

この水分によってどのような悪影響があるのでしょうか？

ごみ収集業者さんに聞きました。

水切りがされていない生ごみの袋は重く、腐敗による悪臭が発生します。また、猫やカラスに散らかされやすくなり、焼却する際の効率も落ちます。

家庭では、生ごみの水切りを行っていただき、紙・布を減らすため、資源ごみ回収をもっと活用してくださいね。

有田一般廃棄物収集運搬協同組合 代表理事 橋本 雅之



水分を減らすために

●水切り

野菜の皮などの生ごみは水を切ってから捨てましょう。水切りネットなどを活用すればより手軽に水が切れます。

●生ごみ処理機

生ごみを乾燥・粉碎し、量を大幅に減らすことができます。市では購入費の半額（上限2万円）を補助しています。また、「いきなり購入するのは不安」「試してみたい」という方に向けて、貸出も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

生活環境課 Tel 22-3565

